

じどうしつだより No. 82 (2013. 1発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『りんご畑の12か月』</p> <p>松本猛文 中武ひでみつ絵 講談社 2012.8</p> <p>1110502806</p>	<p>だいちゃんは、やすおじちゃんを作るりんごは、世界一おいしいと思っています。どうしたら、あんなにおいしいりんごがとれるのかと、おじさんに手紙を書きました。うれしく思ったおじさんは、りんごの成長するようすを、毎月手紙で知らせてくれました。りんごが実り収穫されるまでの過程が、絵と手紙の文からよくわかります。長野県安曇野のりんご農園の1年を描いた絵本。</p>
<p>『サッカーがだいすき!』</p> <p>マリベス・ボルツさく ローレン・カスティロえ MONやく 岩崎書店 2012.11</p> <p>1110535567</p>	<p>あたしは、サッカーがだいすき!サッカーしている時がいちばんしあわせ。地区のせんぱつチームにもえらばれた。でも、悲しいこともある。土曜日が仕事のおばさんは、あたしの試合を見にこられない。試合中、みんなはユニフォームの番号であたしを応援してくれる。でも、名前をよんでくれる人はいない。シーズン最後の試合直前にうれしい大ニュース!おばさんが、休みをとって、明日の試合を見にきてくれるって!ところが…。</p>
<p>『おいっちにおいっちに』</p> <p>トミー・デ・パオラ作 みらいなな訳 童話屋 2012.9</p> <p>1110519984</p>	<p>おじいちゃんとおじいちゃん、大のなかよし。ところが、おじいちゃんは脳のびょうきになって、にゅういんしてしまいます。しばらくして、おじいちゃんは家にかえってきましたが、だまってねているだけ。おじいちゃん、なんだかこわくなります。でも、話しかけてみたら、おじいちゃん目がひかりました。おじいちゃんはきっとよくなると思ったおじいちゃんは、いっしょにあそんだつみきを見せたり、おじいちゃんが自分にあるきかたをおしえてくれたことを、話してきかせます。</p>
<p>『こねこのハリー』</p> <p>メアリー・チャルマーズさく おびかゆうこやく 福音館書店 2012.10</p> <p>1110526620</p>	<p>あるあさ、こねこのハリーはおかあさんとさんぽにでかけました。おかあさんが、たちばなしをはじめたので、ハリーはきのにほり、いえのやねにとびうつりました。しかし、どうやっておればよいのかわかりません。しらせをうけたしょうぼうしさんが、ハリーをやねからおろしてくれました。「ハリーびょういんにいく」「まっけてねハリー」「ハリーのクリスマス」も、併せてどうぞ。</p>
<p>『まほうのコップ』</p> <p>藤田千枝原案 川島敏生写真 福音館書店 2012.9</p> <p>1110516310</p>	<p>ただのコップに、ただの水を注ぐだけで、まほうのコップができあがります。コップのむこうにしめじを置く、あっというまに、がまがえる。お茶のきゅうすをむこうに置くと、あらわれたのは、サイの角。いろんなコップ、いろんなびんで、いろんなまほうが楽しめます。コップと水のまほう、ためしてごらん、のぞいてごらん。</p>
<p>『わたしのいちばんあのこの1ばん』</p> <p>アリソン・ウォルチ作 パトリス・バートン絵 薫くみこ訳 ポプラ社 2012.9</p> <p>1110507007</p>	<p>バイオレットは、何でも1とうしょうがだいすき。かけっこも1ばんはやいし、1ばん目立ったファッションをしています。でも、ロージーは、なんだかもやもやしています。1とうしょうの1ばんだけを、みんなも「いちばん」と思うのかなあ?ロージーのいちばんは、自分のすきなものを大切にすてごすこと。そんなとき、学校で、まめのたねを育てることになりました。</p>